

忠生中学校だより

げんとう かぜ 原頭の風

—2025年度 第5号—



2025年9月1日発行

子どもの数は今の数～生徒が主役で
笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



新たな気持ちで学校生活に取り組もう！

校長 高橋 博幸

2学期がスタートしました。子供たちの元気な声が戻ってきました。「学校の主役は子供たち」と改めて実感しています。2学期は1年間で一番長い学期です。3年生はすぐに修学旅行があります。2年生は移動教室で福島 of British Hills でパスポートのいないイギリス留学に参加します。それぞれの学年で実行委員を中心に1学期から準備を始めていましたが、いよいよ本番です。自分たちで計画した大きな行事を自らの手で成功させることで、さらなる成長につなげて欲しいと思います。また、1年生は中学校生活に慣れるのが1学期の大きな目標でしたが、2学期は中学生としての自覚をもち成長していくことを目標にして欲しいと思います。学校生活の中で先輩たちの良いところをよく見て、そこから学んだことを自分たちの行動に生かし、行事・委員会・部活動など、多くの場面で積極的に活動してくれることを期待しています。

さて、今月は始業式のお話をご紹介します、挨拶とさせていただきます。

おはようございます。長い夏休み、だれも大きな事故に遭うことがなく、こうして、また、元気な皆さんと会うことができとても嬉しく思います。ところで、夏休みに皆さんは何かチャレンジしましたか？部活動の大会やコンクール、勉強、宿題、読書などなどいろいろなことにチャレンジしたと思います。そのチャレンジしたことや経験が力になり、2学期に花開くと思います。

さて、今日から全校生徒がそろい、本格的に授業が始まります。生活のリズムを整えて、夏休み前の生活に戻し、新たな気持ちで学校生活に取り組んでほしいと思います。

ここで、2学期のスタートにあたり、2つのことをお話します。一つ目は「2学期の抱負や目標をもとう！」ということです。2学期は、勉強するにも運動するにもとてもよい季節です。修学旅行や移動教室、合唱コンクールなどの大きな行事もあります。2学期の抱負や目標を立て、目標を実現するには、どうしたらよいかをよく考えて、毎日、本気で取り組んでほしいと思います。皆さんに望むことは、自分自身を成長させるために、今日からの生活の中での目標を定め、その目標に向かって、少しずつ実行していくことです。「毎日30分の英語の勉強を続ける」「一日一回、家の手伝いをする」……何でもいいですから、自分を高めるために、具体的な目標を立て、実行していきましょう。



二つ目は「忠生中の全員、生徒の皆さんも先生方も全員が安心・安全に生活できる学校にしよう！」ということです。学校の中や外に皆さんにとって危険な場所がないかどうか、もしそのような場所があったらすぐに先生たちに教えてください。すぐに直して皆さんにとって安全な学校にしていきたいと思います。そして、皆さんも万が一の災害などがあった場合の避難方法などについて、もう一度思い出して確認してください。みんなが安心して学校での生活ができるように、お互いに優しい気持ち、相手を思いやる気持ちを大切に、毎日の学校生活を過ごしてほしいと思います。

さあ、今日から、新たな気持ちで学校生活に向かいましょう！

◎ 第4回 町田市小学生・中学生フォーラムが開催されました

7月31日（木）午前10時より、町田第一中学校のホールで、「第4回町田市小学生・中学生フォーラム」が開催されました。

今回のテーマは、「みんなが行きたいと思う学校にするために」です。本校からは、生徒会長の鳥切さんと生徒会本部役員の佐々木さんが参加しました。開会式では、町田市教育委員会の小池慎一郎教育長からご挨拶がありました。

開会式の後に、町田市立小学校・中学校全校の代表者がグループに分かれて意見交換を行いました。グループワークは2回行われました。自己紹介の後に、グループワーク用スライドを見ながら、自校の取組（背景・方法・成果等）を伝えました。各学校の情報や大切にしたいこと、具体的な取組について考えて共有を図りました。意見交換の場では、TさんとSさんは忠生中学校の代表者として、しっかりと忠生中学校の取組を伝えていて、とても立派でした。今回、意見交換をしてまとめた内容を忠生中学校に持ち帰り、生徒の主体性を生かしたより良い学校づくりを行う予定です。代表の生徒の皆さん、ありがとうございました。



◎ 部活動 ～忠生中学生、活躍してます～ （敬称略）

☆合唱部

第92回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール予選 銀賞

M. K (3-3)	▪	Y. O (3-3)	▪	M. A (3-4)	▪	N. T (3-5)
K. M (3-3)	▪	M. N (3-6)	▪	A. S (2-1)	▪	M. S (2-1)
M. N (2-2)	▪	M. F (2-2)	▪	Y. N (2-2)	▪	N. S (2-5)
K. I (1-3)	▪	K. N (1-3)	▪	A. K (1-5)	▪	H. K (1-6)



☆吹奏楽部

第66回東京都中学生吹奏楽コンクール 銀賞

M. S (3-5)	▪	Y. A (3-4)	▪	K. K (3-2)	▪	I. O (3-3)
C. H (3-3)	▪	Y. K (3-4)	▪	S. S (3-6)	▪	I. T (3-3)
N. K (3-5)	▪	O. S (3-2)	▪	K. A (3-4)	▪	S. K (2-2)
R. K (2-3)	▪	K. K (2-4)	▪	J. K (2-4)	▪	H. S (2-2)
Y. S (2-3)	▪	S. T (2-5)	▪	A. S (2-1)	▪	N. F (2-2)
M. K (2-5)	▪	M. S (2-1)	▪	T. Y (2-2)	▪	O. I (2-4)



町田市立中学校連合音楽会出場



☆陸上競技部

第37回東京ジュニア陸上競技大会 中学女子3年 走幅跳

第5位 (記録 4m71) M. K (3-6)

☆バドミントン部

第52回 町田市 ジュニアシングルスバドミントン大会

優勝 M. S (2-4)



◎ 教員研修をおこないました

1学期の最終日から夏休み中にかけて、忠生中学校の教職員は教員研修を行いました。サービス事故防止研修や食物アレルギー対応エピペン研修、不審者対応研修、Lions Quest プログラム研修、不登校生徒対応研修、人権プラザでの「人権を学ぶ」研修に教職員は真剣に取り組みました。各研修会の講師をしていただいた町田警察署少年係の古寺様・新飼様、ライオンズクラブの中村様・外川様、公益財団法人東京都人権啓発センターの藤本様、専門員の田村様ご指導ありがとうございました。2学期も研修の成果を生かして、「チーム忠生中」で子どもたちを育ててまいります。



サービス事故防止研修



食物アレルギー対応エピペン研修



不審者対応研修



不審者対応研修



不審者対応研修



Lions Quest プログラム研修



Lions Quest プログラム研修



不登校生徒対応研修



人権プラザでの「人権を学ぶ」研修

【基本方針】

- ☆ 教育目標・学校経営方針のもと、全教職員一丸（チーム忠生中）で全生徒を育てる。
- ☆ 授業を大切にし、学習のめあての設定を重点に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革を行い、知・徳・体のバランスのよい生徒を育てる。
- ☆ 教師が時代のニーズにあった研究・修養に励み自己を成長させ、意識・行動改革を図る。

【教育目標】

- ・ 知性を磨き、高い学力を付ける … **知**
- ◎ 心情を培い、正しい判断力を付ける … **徳**
- ・ 意志を鍛え、たくましい実践力を付ける … **体**

【目指す学校像】

子どもの数は命の数 ～ **生徒が主役で笑顔いっぱい光り輝く学校** ～

【目指す生徒の姿】

自他尊重・**自主自律**・**自学創造**

【1】確かな学力の定着

- ◎ 生徒の学習意欲を高めるための授業改革
- 「身に付けさせたい力」を明確にした指導計画・評価計画に基づく意図的・計画的な授業を展開する。授業改革により、生徒一人一人の学力を向上させる授業を実践する。

【2】生活指導の充実・発展

- ◎ 組織的、系統的な生活指導の徹底
- 自他の生命を大切にする気持ちや人権尊重の精神を育む指導を最優先する。
- 生活指導部を中心に危機管理情報を校内で共有し、迅速に対応する。いじめ発生時は「学校いじめ対応チーム」をすぐに開催する。

【3】キャリア教育の充実・発展

- ◎ 自尊感情を高めるキャリア教育の推進
- 「ただお国際理解プログラム」として、第1学年にTOKYO GLOBAL GATEWAY、第2学年に福島ブリティッシュヒルズ、第3学年に修学旅行を体験学習として位置づける。

【4】特別支援教育への理解と実践

- ◎ すべての生徒を対象とする特別支援教育
- 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図り、通常の学級とサポートルーム・ほっとルームの連携を強化し、組織的な校内支援体制の充実・発展を図る。

【5】校内研修の推進

- ◎ 人権尊重教育及び平和教育の推進
- 全ての教職員が人権尊重の理念や平和教育について十分に理解し生徒へ適切な指導を行う。校内研修等で若手教員を育成する。

【6】教員・保護者・地域との連携強化

- ◎ 保護者や地域から信頼される学校づくり
- コミュニティ・スクール実施に伴い、学校が地域の方々と目標やビジョンを共有し、地域人材や地域環境を積極的に活用する。

【7】服務厳正の徹底（教育公務員の自覚）

- ◎ 体罰、不適切な指導、暴言等の根絶
- 人権教育プログラムの個別の人権課題「子ども」に基づき、子どもの人権を大切にした組織的な指導を徹底し、成績や結果を残すことのみに固執するなどの不適切指導や体罰の未然防止に努める。

【8】教職員の働き方改革を推進

- ◎ 教職員の心身の健康を保つ
- 勤務時間内に集中して仕事をこなし、仕事の質を向上させる働き方改革を心がける。
- 部活動の平日の活動を午後6時までに終了する。それに合わせて、校内の留守番電話を午後6時に設定する。